

7月10日、開校30周年記念として、雨という天気でしたが卒業生が紋別高等養護学校に集まり、30年続く伝統のよさこいを披露してくれました。

体育館中に響く声と全力の踊りは開校から受け継がれる紋高養魂を示し、在校生も最後に大きな拍手をしていました。



その1週間後、7月17日には体育祭が行われました。

定番の100m、投てき競技のジャベリックスロー、跳躍競技の走り幅跳びや走り高跳び、その他も砲丸投げやソフトボール投げ、200mに1500mやスウェーデンリレーなど、生徒はエントリーしたそれぞれの競技に参加しました。

選手たち生徒が全力で競技する姿に保護者や生徒たちは盛り上がり、拍手や応援の声が飛び交いました。



最後のよさこいでは、踊り、太鼓、旗振りと、先週在校生にエールを送った卒業生に負けない気迫で演舞をすることができました。

開校 30 周年として新調したはっぴを着た 3 年生が後輩を盛り立てながら全力の踊りを見せ、紋高養魂が次へと受け継がれていく姿を目の当たりにすることができました。

